

命のバトンをつなぐ大切な使命



1歳になった「ゆめ」は元気いっぱいです

雪あかりの動物園は、大盛況のうちを終了しました。今年も海外の方の姿を見掛けることが多く、国際色豊かになってきました。地元ファーストでありたいと思いつつも、冬の夜に開園している動物園は滅多にないと思いつつ、北海道の寒さと雪の素晴らしさ、大切さを感じてもらえたらうれしいですね。旭山動物園はコロナ禍でも毎年雪あかりの動物園を開催してきましたが、昨年までは、やる方も訪れる方もどこがおっかなびつくりの一面がありました。今年は来園者の表情もとても明るく、キーパーズトークなどのイベントにも多くの方が集まり、

なんといますか、生命力があふれてきた感じがとても強く印象に残りました。2月は動物の引越しが続きました。アムールトラやエゾシカ、キングペンギン。南は長崎、北は帯広…。旭山の飼育環境で、たくましく

育った個体たちです。きっと新たな地でも生き生きとした魅力を発揮してくれることでしょう。

そういえば、旭山で生まれ育ち旅立つて親となった動物たちもたくさんいます。シンリンオオカミのケンとマースはもう亡くなつてしまいましたが、その孫。そしてアムールトラのキリルとザリアの孫は、それぞれ北海道の動物園で元気に生活しています。命のバトンをつなぐことは、命を預かる動物園として大切な使命であり、役割でもあります。

日ごとに日差しが強くなり、雪の照り返しがまぶしく暖かく感じます。ライオンの子たちも見違えるほど大きくなりました。ホッキョクグマの「ゆめ」は、これまた元気いっぱい一人で遊びに夢中になります。母親のピリカは、要所ではゆめを気に掛けているのですが、基本は放任型の子育てです。今年も、思いつき深呼吸ができる春になっていくのでしょうか？春からの夏期開園のことも気になります。



旭山ピックアップ

ライオンの子たちはすくすく成長しています



昨年9月に生まれたライオンのフウ・レイ・イトは元気に成長しています。冬期間は天候や体調を見て不定期の展示となりますが、群れで生活するライオンの様子をぜひご覧ください。

冬期開園日・時間

4/9(日)まで 10:30~15:30 (入園は15:00まで)
※最新情報は同園HPなどで確認を。

旭山動物園をもっと楽しむ

ワンポイントガイド

- ☑飼育員が動物のエピソードなどを紹介
- ☑毎週日曜日・祝日 13:30から

園内イベント

詳細は決まり次第、同園HPに掲載



【詳細】旭山動物園
(東旭川町倉沼 電話36・1104)